



野生植物研究所だより



～ あじ島冒険楽校 ～

7月28日(土)29日(日)と29日(日)30日(月)の2回に分けて、「あじ島冒険楽校」が行われました。

● あじ島冒険楽校について ●

あじ島冒険楽校のブログ (URL <http://plaza.rakuten.co.jp/ajisima/>) には、次のように書かれています。



コンセプトは、「昔の子供たち」(島のおじいちゃん、おばあちゃんたち)が先生となり、「未来の大人たち」(島外から来た子供たち)と一緒に、島の伝統的な魚釣り「アナゴ抜き」、竹鉄砲・竹とんぼ作り、肝だめし、島からの鮎川の花火鑑賞、シーカヤック等を楽しむ『島の夏休み』です。

冒険楽校の元気な子供たちとの交流により、島の高齢者は、自分たちが培ってきた島の生活に「誇」を取り戻していきました。そして、島の住民の表情や声が、とても明るくなっていったのです。

この冒険楽校の成功の裏には、講師として参加していただいたながづ和吉先生や阿部雄さんの親身な協力のおかげであると感謝しております。

平成17年1月には、「あじ島冒険楽校」が「平成16年度地域づくり総務大臣表彰」を受賞いたしました。財団法人地域活性化センターのホームページに「あじ島冒険楽校」の動画が紹介されています。

● 前半のあじ島冒険楽校 ●

第1日目



シーカヤック

前半の参加者は、県内各地から集まった、子供26名、保護者14名です。午後1時より、網地集会所で開校式があり、その後、シーカヤックと海水浴ということで、白浜海水浴場へ向いました。天気もよく、子供たちは大喜び、シーカヤックがはじめてという子供がほとんどでしたが、1時間ほどで、だいぶ自信をつけたようです。宿泊地、元網長中学校の校舎の「島の楽校」に着き、着替え等を終えたあと、竹トンボや、流木や石を使った工作等がありました。私の出番、網地島の植物教室は、午後5時30分から6時まで行いました。島全体にタブノキやトベラ、ヒサカキ等が見られる温暖な気

候の話、タブノキとアオスジアゲハのかかわり、ヤマユリとスカシユリ、昔、たわしとして利用されたトクサとトクサの大群落、島全体に見られるヒメヒオウギズイセン、ハマと名の付く海浜植物等について、実物をもとに話をしました。夕食には、アワビ、ウニ、鯨汁等の沢山の海の幸が出ました。



網地島の植物教室

第2日目



アナゴ抜き

朝6時に起床、宿泊室、風呂、トイレ、廊下等の清掃の後、朝食をとりました。7時に玄関前で記念写真を撮り、すべての荷物を持って、浪入田のいしどの浜へ行きました。そこでは魚釣り(アナゴ抜き)、磯の観察、磯遊び、植物観察を行いました。釣りは大変な人気で、大人も子供も釣りに夢中、ネウやメバル等が沢山釣れました。釣った魚は塩焼きにし、お昼に食べました。植物観察では、山の斜面(岩場)にスカシユリとヤマユリの花が、それぞれ高度の違う所に沢山見られたので、生える場所に違いがあるのはどうしてなのだろうということを考えま

した。11時30分過ぎ、いしどの浜で解散式を行い、網地浜に向いました。昼過ぎの船で、前半の部の参加者と後半の部の参加者は交代です。見送り迎えが同時ということになります。



スカシユリとヤマユリ

参加した子供達、島でなければ体験できない様々な経験を積み、良い思い出がいっぱいできたのではないかと思います。

【連絡先】〒989-6252 宮城県大崎市古川荒谷字寶ノ子町12-2 ☎ 0229-28-3601 FAX 0229-28-4452

Blog: <http://plaza.rakuten.co.jp/wakichi/> E-mail: nagaguduwakichi@yahoo.co.jp

URL: <http://www.wakichi.com/>